

# あくね 市議会だより

小中学校へICT導入など 当初予算可決……………2  
予算・条例など委員会での審議状況……………4  
各議員が市政を問う（一般質問）……………13  
クイズ・デモ議会議会だより……………18



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

二次元コード

阿久根市議会

検索

令和の時代へ、出発進行。

映画「かぞくいろ」の舞台に行く、おれんじ鉄道。（大川地区）

令和元年5月17日発行（No.201）

# 医大就学・留学奨学金など

一般会計

119億6,000万円

前年度比  
2.5%減

## 主な注目

## 新規事業

### 地域色づくり事業

1,600万円

地域が抱える課題解決、コミュニティの充実を図りながら、魅力あふれる豊かな地域色を創るための補助金を交付します。

### 小中学ICT機器整備

3,500万円

授業に必要なICT機器導入し、専門員を配置する業務を委託します。

### 濱風ゆめみらい奨学金

9,900万円

医科大学等へ就学したり、海外留学する学生に、一定の条件で返済免除される奨学金貸し付けます。

### 市内企業合同説明会

鶴翔高生を対象に市内企業の合同説明会を開催します。

### クレジットカード導入補助

電子決済環境の整備を行う事業者に、整備批評の一部を支援します。

### 災害時住民輸送バス

4,000万円

災害時における避難輸送等の際に利用するバスを更新します。

### 防犯灯LED化推進

300万円

各区設置・管理の防犯灯をLED灯へ更新する経費の一部を補助します。

一般会計予算

119億6,000万円

# 新規に 小中学校ICT導入

特別  
会計

68億4,800万円

前年度比  
1.4%減

## 予算

小中学校にICT（\*）機器を導入し専門員を配置、医師や海外留学を目指す学生を支援し条件により返済免除となる奨学金制度の創設、各地域が魅力あふれる色を描くための地域色づくり事業などを盛り込んだ平成31年度一般会計予算は、史上2番目の規模だった前年度比2・5%減の119億6000万円を可決しました。なお市民一人あたりの当初予算額は58万7千円で昨年度に次ぐ金額です。

国民健康保険、介護保険等を含む特別会計予算は、前年度当初比1・4%減の68億4800万円。また30年度の一一般会計補正予算は、2億8652万円を減額しました。（4、5ページ参照）

## 指定管理

道の駅阿久根観光物産館の指定管理者に、株式会社阿久根市観光連盟

（4月8日付で社名を「株式会社まちの灯台阿久根」に変更）が選定されました。（7ページ参照）

## 条例

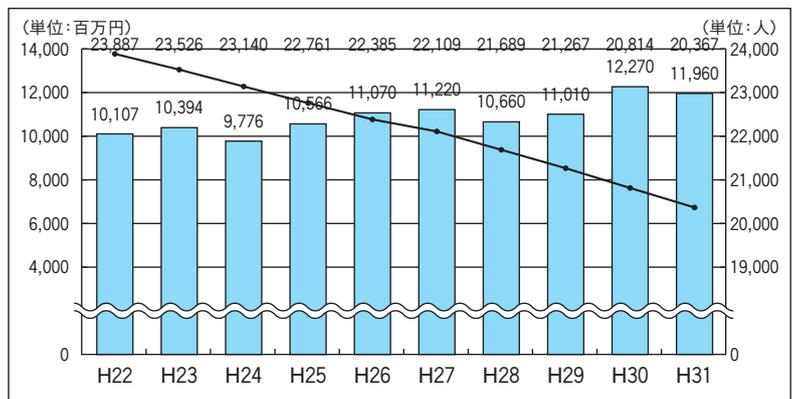
市長等特別職給与、議員報酬を国家公務員の給与と改定に準じ、一般職の給与を人事院勧告等に準じそれぞれ改正する条例、工場立地法の緑地面積等の割合を緩和する条例、放課後児童クラブの職員の要件を変更する条例等9件を可決しました。（6、7ページ参照）

## 陳情・請願

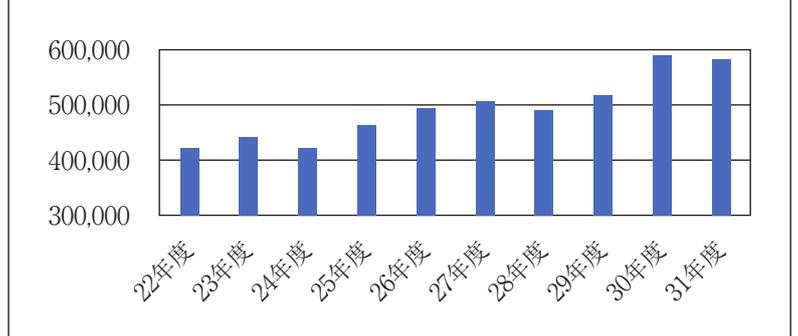
県道阿久根東郷線跨線橋（こせんきょう）上への街路灯新設の陳情を可決。市庁舎へのエレベータ等設置の陳情、市による障がい者青年学級開設の請願は、それぞれ趣旨採択されました。（6、7ページ参照）

（\*）情報処理や通信に関わる技術

○一般会計予算規模と人口の推移



阿久根市人口一人当たり当初予算額 (円)



## 議会の基礎知識

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも陳情書や請願書を市議会に提出できます。陳情とは、一定の事項に利害関係を持つ人が実情を訴え、適切な対応を求め自治体に要望を行うもの。請願は憲法等で保障された請願権の趣旨に従い地方公共団体に関する事

柄について文書で希望を申し述べるもので、一人以上の市会議員の紹介を必要とします。

## 予算の基礎知識

一般会計は、市民サービス提供、公園・道路・公共施設等の建設、行事開催等、行政の基本的な経費を計上する会計です。特別会計は、法律で設置が義務付けられる、国民健康保険・介護保険等の会計。他に独立採算制で設けられている水道事業会計があります。

# 委員会報告

※委員会と本会議の審査結果は異なる場合があります。

予算委員会  
牟田 学 委員長

平成30年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算、計7件について審査しました。

補正予算案  
全会一致  
原案可決

## 主な質疑と答弁

### 災害対策費の備蓄品

**委員** 災害対策費342万円の減額は、当初の備蓄品の数量を購入できた中での執行残か。

**課長** 当初計画していた備蓄品の購入で執行残が出たが、さらに追加して購入し、備蓄品の充足に備えたところである。

## 乗合タクシー運行事業

**委員** 平成30年度から新たに田代、尾崎、弓木野地区で運行されるようになったが、その実績がわかるか。

**課長** 本年1月末までの実績で、山下地区が合計で329回、人数が1千人、田代地区が167回、人数が388人、鶴川内地区が217回、人数が419人である。

## 婚活推進支援事業

**委員** 昨年度まで市が主催していたが、今年度は民間を支援するとして郵便局の婚活事業を後援されたとのことだが、何組のカップルが誕生したか把握しているか。

**課長** 3組のカップルが成立したと報告を受けている。

## 高齢者福祉タクシー利用助成事業

**委員** この制度は前のグループタクシーより市民

から喜ばれているか。

**課長** 実績は上がっている。まだ制度が発足してから1年経っておらず、引き続き周知、啓発を図っていきたい。

## 小中学校の空調設備工事

**委員** 今年の夏までに完了する予定か。

**課長** 今のところ5月下旬ごろまでに設計業務を完了し、その後入札手続を経て、8月上旬ぐらいから工事にかかると考えている。工事も5カ月程度を見込んでおり、対

象となる全ての工事を完了するのは12月ぐらいになるものと考えている。

## 認知症総合支援事業

**委員** 認知症初期集中支援チームの活動業務の内容はどのようなものか。

**課長** 家庭でお困りの方がどうすれば相談ができ、医療機関等に早くつなげられるかを目的にこの事業が始まっている。医師と医療職の看護師、介護職の3職種が1チームを組み相談に応じる。



本年度から補助が拡充される  
各区の防犯灯LED化

平成31年度一般会計予算及び特別会計予算、計7件について審査しました。

当初予算案  
全会一致  
原案可決

## 主な質疑と答弁

### 出前投票所の設置

**委員** 投票所が少なくなり、高齢者が投票所に行くにくい状況がある。出前の投票所を設置するなどの考えはないか。

**課長** 課内で検討したが、投票箱の管理にかなり問題があり、投票箱を移送する際、交通事故等で投票が無になる可能性もあり、かなり危険性を伴うことになるとの結果であった。

## 集落支援員の業務

**委員** 集落支援員の仕事内容について教えてほしい。

**課長** 具体的な業務内容は、各集落の点検活動等をはじめとして、各種行事への参加をし、問題点を整理して、それぞれの状況を調べている。

## 防災行政無線デジタル化整備事業

**委員** 基幹系と建柱の工事ということだが、建柱については地元の業者に発注することになるのか。

**課長** 屋外拡声子局の建柱や器具の取り付け、個別受信機の設置などについては市内事業者で施工できるものとして、分割して発注することとしている。

## 防犯灯LED化事業

**委員** 今後5カ年で取り組むということだが、市内には77区あり、各区の要望が今年度の予算を上回った場合、1区当たりの更新箇所数に限度は設けるのか。

**課長** 市内には1501カ所の防犯灯があるが、

このうちLED化されて  
いないのは1271基あ  
り、平成31年度に250  
基分を予算計上した。1  
基当たり1万2千円の補  
助を5カ年に分けて行  
い、年間250基を上  
回った場合は各区と相談  
をしながら進めていく。

### 食用油の収集廃止

**委員** 去年まで使用済みの食用油を集めていたが、今年を集めないことになっているのか。

**課長** 従来は北薩環境管理協同組合で使用するため収集していたが、今年度になって必要性がなくなったことから、個人で燃えるごみと一緒に出してもらいたい。

### 後期高齢者人間ドック助成事業

**委員** 金額が2万5千円や2万円程度になっているところもある。金額の見直しの検討はしたのか。

**課長** 補助額は、病院によって違うが、健診料は

概ね4万円前後であり、7割補助となっており、市の補助金が2万8千円程度、本人負担額が1万2千円程度となっている。

### 連作障害対策土壌消毒事業

**委員** この補助を受けようとする者に資格などあるのか。

**課長** 一般的に実エンドウ、ソラマメ、そしてイチゴ、タバコ等を生産される農家に対して支給する補助金である。全体的にはJAから購入される方が多いことから、JAに一括して購入履歴を示してもらい、支払う。ただし、個人事業者から購入された方については、購入証明を提示してもらい対応することになる。

### クレジットカード決済システム導入補助事業

**委員** 交通系のカードなどの非現金システムにも適用されるのか。

**課長** 詳細については検

討中であるが、クレジット  
トカードだけでなく、  
電子決済等も含む予定で  
ある。

### 漁業後継者就業支援交付金

**委員** 31年度の計画で5名ということだが、今年度の見込みがないということを見た。31年度で何か抜本的に対象者を募ることがあるのか。

**課長** 2人は該当者と考  
えているが、あと3名に  
ついては今後進めていく。

### 市道等清掃活動補助金

**委員** 今まで謝金で均等割、実績割とあったのがこれに代わったというところか。

**課長** 今までは距離割として実施距離に合わせて総体の予算から割り戻して単価を決めていたが、来年度からは、均等割については1回目2千円、2回目5千円、3回目5千円という形と、実施距離によって金額を定める

予定である。

### ICT機器導入

**委員** ICTの使用料2200万だが、特に今年入れなければいけないものがICT関係であるということか。

**課長** 32年度から全面的に実施する新しい学習指導要領に基づき、各学校でコンピュータ関連の環境を整える必要がある。31年度から子供たちが使うタブレットや校務用のパソコン、それに伴うソフトなどを導入する予定である。

### バイオマスボイラーによるプールの一般開放延長

**委員** 今まで一般開放が限られていたと思うが、今回バイオマスボイラーによって、通年、一般開放を目指していくのか。

**課長** プールの一般開放は5月から10月までとしており、今はボイラーでA重油を使っているが、今回の工事により、32年

度からの運用になると思う。その段階で要望等あれば期間の延長は考えていく必要がある。

### 自発的活動支援事業

**委員** どういう事業か。  
**課長** 新規事業であり、障がい者等が自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、地域で自発的な取り組みを行う団体を支援することを目的として助成するものであり、補助金は1団体当たり活動費の2分の1で10万円を上限に考えている。



自発的活動支援事業の対象となる障がい者青年学級の活動（魚さばき体験）

議員報酬等  
改正条例

原案可決  
賛成多数

主な質疑と答弁

**委員** 報酬は変わらないのか、均等ということかは変わらないか。

**課長** 平成30年度分については12月期に支給されているが、この分については、0・05月分追加して支給をするものである。平成31年度においては、その0・05月の30年度中の増加分を6月と12月に均等に分けて支給しようとするものである。

市長等給与  
改正条例

原案可決  
賛成多数

主な質疑と答弁

**委員** 比較して幾らの差

が出るのか。  
**課長** 期末手当は11万3千円余り、共済費は1万6千円余り、合計で12万9千円余りとなっており、1人平均4万3千円程度の増額の予定である。

職員給与  
改正条例

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**委員** これまで職務の階級に応じて減額がそれぞれなされてきたわけだが、それと照らし合わせただ中で、どのような状況になるのか。  
**課長** 今回の人事院勧告に基づく部分には、給料で193万2千円、期末勤勉手当で394万1千円のそれぞれ増額となっており、時間外勤務、共済等を含め、影響額として672万8千円の影響額となるものである。削減額は、30年度においては、一般職員で2255万6千円の減額となっている

工場立地法  
地域準則条例

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**委員** 1企業からの相談があったということだが、現在阿久根市にある企業なのか、それとも新たに市外から相談があったのか。  
**課長** 現在、阿久根市内に所在している事業者から相談を受けたところである。

濱風ゆめみらい  
奨学金条例

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**委員** 語学留学のための半年以上の留学、また年齢制限もない中で、国内

の大学に準ずる場合は奨学金を受けられると理解した方がいいのか、これは可能なのか。  
**課長** 語学留学について今回の条例に規定をし、国内の大学等に相当する外国の大学、または大学院に6カ月以上の期間にわたって留学をされる方については、年齢に関係なく対象になると考えている。免除については、入学一時金の80万円の部分について、要件を満たせば免除の対象になると考えている。

障がい者学級開設  
に関する請願書

趣旨採択  
賛成多数

主な質疑と答弁

**委員** 開設した場合、市のサポートは可能か。  
**課長** 正式に開設となれば、それなりの専門的な知識があるスタッフも先に揃えないといけないが、配置は難しい状況であり、

まずはできるお手伝い、支援をと考えている。  
**委員から出た意見**

**委員** 基本的には手をつなぐ育成会の組織の中で青年学級の事業が行われるのが一番いいのではないか。今後、手をつなぐ育成会と青年学級の皆さん、そして社会福祉協議会、福祉課などが合意形成に向かって議論を重ねてもらいたい。

**委員** 内容的には賛同できる部分もあり、趣旨採択で思っている。

市庁舎エレベーター  
設置等についての陳情

趣旨採択  
全会一致

委員から出た意見

**委員** 公共施設等管理計画の中でエレベーター等についても実施計画を行うとのことであり、趣旨採択でいいのではないか。  
**委員** 今後、いろいろな財政的にも負担を生じる事業が多くあり、この件は執行部に任せることではないのか。



高齢者や障がい者のためにもエレベーターの設置が望まれる（阿久根市役所）

産業厚生委員会  
仮屋園 一徳 委員長

### 道の駅阿久根 指定管理者指定

原案可決  
全会一致

#### 主な質疑と答弁

**委員** 現在、道の駅阿久根で雇用されている人達の処遇はどうなるのか。

**課長** 観光連盟からは今いる13名は少し多いとの話もあり、2月中に現団体のほうで個別に面接し、本人の意向を伺っている状況である。

**委員** 大きな利益が出た場合、利益の処分については何か考えているか。

**課長** 一層のサービスに、または修繕に充ててくださいとお願いしている。今後利益が伸びるようであれば、次の指定管理のときに市への納入も含め考える必要があると思う。

### 国民健康保険税 条例改正

原案可決  
全会一致

#### 主な質疑と答弁

**委員** 健康保険の加入者の平均が何パーセント上がるか。

**課長** 改正案の平均は年間7万3794円、30年度の見込みは6万7143円であり、平均で651円、率にして5.23%上がることになる。

### 家庭的保育事業等の 設備等改正条例

原案可決  
全会一致

#### 主な質疑と答弁

特に委員からの質疑はありませんでした。

### 放課後児童健全育成 事業の設備等改正条例

原案可決  
全会一致

#### 主な質疑と答弁

**委員** 現在、阿久根市の児童クラブにおいて、支援員が足りないという状況があるのか。

**課長** 平成30年度については、支援員の数は足りている。ただし夏休みや冬休み期間中は、預かる児童数が多く支援員の確保に苦労したが、現在は足りている状況である。

### 指定介護予防支援等の 事業の人員等条例制定

原案可決  
全会一致

#### 主な質疑と答弁

**委員** 現在の条例を廃止し、新たな条例をつくることだが、仕事をすすめる中で何か変わることがあるのか。

**課長** 基本的に変わる部分はない。今までの条例は、基準をそのまま条例化しており頻繁に改正する必要があったため、今回、引用する形式で制定するものである。

### 県道阿久根東郷線 街路灯新設についての陳情

採 択  
全会一致

#### 主な質疑と答弁

**委員** 県は街路灯の設置はできないとのことだが、街路灯をといてお願いはされていないか。市民からすれば明るく照らすことが必要だという観点からお願いをしていると思うが。

**課長** 防犯灯の部分では総務課と話をしたことはあるが、それ以外のところでは検討はしていない。

**課長** 市としては照明をということをお願いをしている。県としても基準に照らし合わせて判断されているものと考えている。

**委員** 県の採択基準に合わないのであれば、市のほうで何かやれるものがないかの検討はされたことはないか。

**課長** 防犯灯の部分では総務課と話をしたことはあるが、それ以外のところでは検討はしていない。



新装オープンした道の駅阿久根



照明灯がなく夜間は真っ暗になる  
県道阿久根東郷線跨線橋（こせんきょう）

本委員会は、平成27年9月から平成31年3月までに7回の委員会を開催し、市民交流センターを市民本位で多くの市民に利・活用され本市にふさわしい、素晴らしい施設の整備を期待し調査を行いました。

委員会は、教育委員会・設計業者から実施設計に関する資料の提出、進捗状況や実施設計の完了報告を受けながらの調査。また、建設工事の進捗状況の説明を求め調査を行うとともに、昨年11月1日から供用を開始し、本年1月19日開館記念式典が行われたため、建設工事及び完成後の活用等、現地調査を行い委員からの意見を聴きながら調査を行いました。

以下、調査の主な事項を報告します。

委員からの質疑

**委員** 事業完成までに事業費をいくらかけることが出来るかの検討はしたか。

**課長** 社会資本整備総合交付金の限度額が21億円であったので、20億円に設定、図書館は近隣の状況を参考に5億円程度で可能とのことで25億円を設定した。

**委員** 労務費や資材費の上昇があると思うが、設計者の協力会社も連携して設計して欲しい。人件費が上昇しても20億円で建設する考えか。

**課長** 補正予算で承認されたことでもあり、それを目標に徹底してその額に抑えたい。

**委員** 今後の方針で施設の形状を含めホール、交流室、図書館など全体的な見直しを検討しているが、市の方針で縮小するものはないか。

**課長** 市の方針で事業を進める。庁内でも協議を進め、面積の縮小、ホールの席数、交流室の数なども減らす方向になる。現在の利用状況を精査し、設計業者とも協議し、方針を伝える。

**委員** 事業費は、市民感情もあり、20億円を超えないように。運営、舞台装置の取り扱い、イベントをする側が担当し、

トータルで一年間専門の人を雇うことのないようにして欲しい。

**課長** 事業費の20億円は守りたい。スタッフは、可能な限り職員で行いたい。

設計者に出席を求め調査

**委員** 施設の全周がガラスになっていて断熱効果や安全性の面からも懸念している。暖房も効果も良くないと思うが。

**課長** 大きな軒先の中に入っているガラス面は、様々な面で利点があり、必要以上の断熱性能を持つ必要はないが、通風や採光を取り入れて、ロビー空間など証明をつけないで過ごせ、ランニングコストを抑えることもできる。このガラスの断熱性能は、コンクリート30cmの厚さ1枚分と同じ性能がある。コスト的にも安く、明るく、危険でないものが造れる。

**委員** 今の設計、あるいは変更する設計に基づいて地元の建設業者で施工



こんな活用方法も  
ロビーで絵画展示会

が可能との考えか。

**課長** 通常この規模になると地元の業者1社単独では少し荷に余ると思ふ。特殊技術もあるが、随所に地元の業者との共同企業体や下請けに参加することもできる。極力地元の材料を使って、地元の業者が使って、地元の業者が維持管理ができるようなものを取り入れたい。

また、予算の縮減により基本設計を面積の縮減、座席数を500席程度に縮小、などの基本設計の見直しを設計者が説明。

**委員からの意見**  
・交流センターは長年の要望であり、様々な議論

を通じて設計ができた。一日も早い完成を望んでいる。  
・地元業者できる工事は分離発注してでも地元の業者に。  
・センター南側の外壁の塗装に問題がある。設計者と施工業者に対応して欲しい。改善しないと市民は納得しない。などの意見がありました。

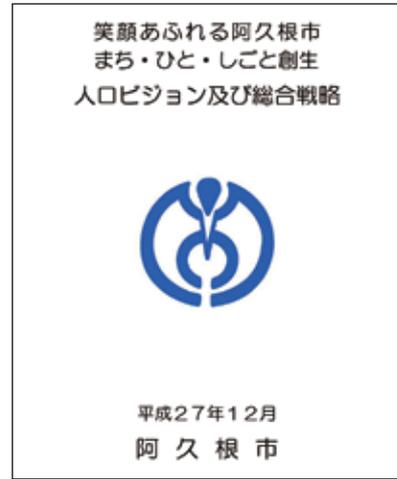
**結びに**  
本委員会の調査では、多くの委員から多くの意見があり、その意見等を市当局に伝えることができ、交流センターの建設や管理運営方針に反映され、本市の文化・芸術活動等の発展に寄与することになると確信します。



委員会による  
完成後の現地調査

# 地方創生に関する調査特別委員会報告

岩崎 健一 委員長



4年前に策定された総合戦略

本委員会は、平成27年6月から平成31年3月までに10回の委員会を開催し、市が策定した「笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」の達成状況等について調査を行いました。

委員会では、総合戦略の所管課である企画調整課を初めとして、各種事業に取り組んでいる関係課を委員会に呼び年度ごとの達成状況等について調査を行ってきました。

以下、調査の主な事項を報告します。

## 委員からの質疑

**委員** ふるさと納税の返礼品について、地域おこし協力隊員との連携が取れていないのではないかと。

**課長** 地域おこし協力隊の皆さんは一生懸命働いていただいていると考えている。商工観光課と企画調整課の連携が取れていない部分もいくらかあったかもしれないが、メディアの発表については、商工観光課を通じてメディア・報道機関へのリリースは行っている。

**委員** 竹チップの補助金を2円にできないか。

**課長** 阿久根市は他の市町村に先がけて、平成24年から実施しており、出水市・さつま町は木材会社と合わせて10円であるが、阿久根市においては、1キロ当たり1.5円で継続したい。

**委員** 特定不妊治療の補助金等について。

**課長** 一年度当たり15万円が限度額で最長5年間である。

**委員** 地元商工会議所育成創業支援融資について、平成29年10月に創業支援セミナーを開催し、市が定める基準を満たした受講者に対して補助金を交付予定との事であるが、実際の事業はどのようになっているか。

**課長** 平成29年10月に全6回、商工会議所主催で実施した。基準を満たした受講者は最終的に5名であり、来年度、補助金の交付要綱を策定し、創業支援に向けて補助金の支出を考えている。

**委員** 民泊推進事業につ

いて、阿久根市全体で受け入れ可能な民家の数は、

**課長** 阿久根遊々体験倶楽部に入っている会員が30名である。

**委員** 販路開発・拡大支援の中で出店業者の決定は、業者の希望となっているのか、また、毎年入れかわりがあるのか。

**課長** 商談会、物産展については、観光連盟を初め、農協、漁協等にも案内を出し、希望の業者が参加している。

**委員** 阿久根ファン創生事業、WiFi環境・観光サイトについて、阿久根市で公的にWiFi環境を設置している場所は何かあるのか。

**課長** 道の駅あくね、にぎわい交流会阿久根駅、番所丘公園、総合体育館である。

**委員** 学校給食の地元産品使用率について、28年度が24・5%の目標値を50%に変更したのか。

**課長** 今後の目標値を変更した。

**委員** 奨学金制度について、鶴翔高校生徒に優遇

措置は出来ないか。

**課長** 鶴翔高校への支援には取り組んでいるが、優遇措置について検討した経緯はない。今後、そういうことも含めて検討したい。

**委員** 特別支援教育支援員配置事業について、特別支援員は小学校、中学校に何名いるのか。

**課長** 小学校11名、中学校2名、計13名である。

## 委員からの意見

・疑問点があるところは、説明欄に少し説明を加えたらどうか。

・各目標値について県の平均を勘案して低く下げているように感じる目標値は、もう少し上げて設定すべきである。

## 結びに

本委員会で調査を行ってきた結果、各事業の目標値については、すでに達成している事業において実績及び事業効果への期待をもって設定すること、また目標値を高く設定することにより、事業推進における一層の努力をされることを期待するものであります。

また、改選後の議会に出される検証結果の報告については、庁内検討に係る資料を出してもらい、議会としての検証を行うべきとの意見もありました。



## 職員給与等改正条例

### 賛成 竹原恵美議員

今まで反対を続けてきたものだが、今も人事院勧告の適用はそぐわないと感じている。しかし、その反面、頻発した災害で阿久根市の職員が派遣を受けて災害対策から復興に関わっていることも見てきた。こういった意味では国全体で一定の水準、給与の保障の必要性があると考え。報酬とは違う給与に対しては一定の理論があると理解し、賛成する。

## 例 濱風ゆめみらい奨学金条例

### 賛成 竹原恵美議員

近年はネット等を通じて安価に生の英語を学べるようになり、海外経験はなくてもネイティブの英語に触れることが簡単にできるようになっていく。他の奨学金制度も調べたが、語学留学を除くものも多く見られた。個人の趣味の範囲の語

学留学に奨学金が利用されないように制度の設計を検討いただきたい。

また、医師を目指す方というコンセプトだが、阿久根市の児童生徒の中からどれだけ数の利用があるか、また、医師を目指して学んだ直後に阿久根に戻ってきて医療に関わることがその人のキャリア形成や技術の磨くことにプラスになるのか心配する。これは奨学金返還免除の一文にかかるところである。運用して現状に即してない点があればすぐに変更し、寄付をくださった方のご遺志に沿った運用になるよう検討をお願いして賛成とする。

## 平成31年度一般会計予算

### 賛成 白石純一議員

次の要望の上、賛成する。

1. 華のBBQには、極力市外客を招致された。
2. 婚礼実績が2組ある。
3. 薩摩街道ウォークは、市外業者に発注する必要なく、地域と開催検討を。
4. 交流センターガラス面に強風時飛来物に対する防護ネットを。使いやすく、安全のための改善を望む。
5. 旧国民宿舎利用料20数万円の債権に、年1万円の集金は過少。積極的な債権回収を。

6. (登記作業進める) 旧佐潟ゴルフ場の市有地684筆は十分なインフラも未整備。市の負担考へ、自然環境を犠牲にして、どれほどの開発を進めるべきか市民の考えを聞くべき。

7. 木質バイオマス発電は、7千万円でコンサルに発注し国補助金不採択、今回燃料を薪からチップに変更し採択されるのか。再生可能エネルギービジョンを再検証、自給自足エネルギーを生み出すための検討を。

# 論

# 賛成

# R

## 討論とは

議会の会議において採決の前に、議題となつている案件に対し賛成か反対かの自己意見を表明すること。

## 主な議会・委員会活動(2月～4月)

### 2月

- 1日 産業厚生委員会
- 8日 議員全員協議会
- 8日 総務文教委員会
- 19日 広報広聴委員会
- 19日 議会運営委員会
- 26日 議員全員協議会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 議員全員協議会
- 27日 予算委員会
- 28日 総務文教委員会
- 28日 産業厚生委員会

### 4月

- 12日 地方創生に関する調査特別委員会
- 20日 議会運営委員会
- 20日 議員全員協議会
- 27日 広報広聴委員会
- 27日 議会(表決)
- 14日 市議会議員選挙告示日
- 21日 市議会議員選挙投票日
- 26日 議員全員協議会

### 3月

- 4日 議会運営委員会
- 4日 議員全員協議会
- 5日 議会(一般質問)
- 5日 議員全員協議会
- 6日 議会(一般質問)
- 6日 議員全員協議会
- 7日 産業厚生委員会
- 7日 産業厚生委員会
- 7日 予算委員会



## 議員報酬等改正条例

**反対** 竹原恵美議員

約8年間議員を経験して、現在の議員報酬は適していると感じている。

議員定数等調査特別委員会で配布された市長の報酬を時間当たりに換算して算出した値とも阿久根市は大きな違いはなかった。

報酬を上げることにはその理由と効果が必要だが、人事院勧告は国家公務員向けの50人以上の民間企業のデータとの差を算出したもので、世界と競争して事業活動を行っている企業の右肩上がりの値を阿久根市議会議員に当てはめることはそぐわないと考える。以上反対する。

## 市長等の給与改正条例

**反対** 竹原恵美議員

議員報酬と同じく、市長等の報酬に人事院勧告を適応することは馴染まないと考える。

報酬の提案について囑

# 討

## 議案

# 0

# 反対



託・臨時職員に関する提案は出されていないが、

囑託・臨時職員も市で雇用する職員であり、市長

下で働いている。人手不足の中で他市町村に先駆

けて処遇の改善を提案される必要があったのでは

ないか。加えて、安定して継続雇用のできる環境

づくりにも着手頂きたいと期待をしていたが為政

者を変えるべき課題を置いたままなのではないかと感じる。

また、今まで独自の削減をしてこられたものだが、ペナルティで減額されてきたものではなく、

自らの政治判断で行われてきたものであった。削減のときには意味合い等の説明があつたが、今回

単に自己の賛

否の意見を明らかにするだけでなく、

意見の異なる相手を自己の意見に同調させようと努めることにその意義がある。

(地方議会運営辞典抜粋)

遊びに出かけるという発想がなく、職場や作業所などの仕事場と家庭とを行き来するだけの世界になってしまふ。問題は、本人がそれでもしかたがないと思うこと、そんな生活しか知らないことである。青年らしいもつと多くのことを学ぶ場所が必要であると感じた。

は理由、効果を明確に示されていない。以上で反対する。

**障がい者青年学級開設に関する請願書**

**趣旨採択に反対**

西田数市議員

趣旨採択とは「気持ちよくなるけど・・・」という意味だ。皆さんに採択に賛同してもらいたいため討論する。

私は平成28年4月24日の青年学級創立日、議員は皆出席してよいと思ひ出席した。それ以来、青年学級のボランティアスタッフとして携わっている。携わって感じることは、青年たちは仕事が終わった後、友達を誘って

また、今まで独自の削減をしてこられたものだが、ペナルティで減額されてきたものではなく、自らの政治判断で行われてきたものであった。削減のときには意味合い等の説明があつたが、今回

**趣旨採択に反対**

竹原恵美議員

るといふ要望ではなかった。

趣旨採択ではなく、採択を求める立場で討論する。委員会では陳情者の話を聞き、熊本市の青年学級を所管事務調査し、その後、各担当課に話を聞いた。請願の題名が阿久根市による開設と書いてあるが、陳情者の意思は市が後ろ盾についてもらうことで組織の信用性が高まるのではないかと考えてあつたことを伺った。陳情の文章の中を見ても「本旨をご理解いただき特別のご配慮をお願い致します」と締められており、この団体のすべての運営を市に任せ

また、担当課からは直接陳情者と話し、要望に對してできることから対応していきたいと確認をした。委員会では組織の成り立ちが話題になつたものだが、それ自体はこの議案の主なテーマではないため議会からの提案の一つとして陳情者に伝えることはしても、審査、結論に影響を及ぼす要因として扱うのは適切でないと思う。

陳情者の意図を担当課が理解しており、議会からは採択して担当課の後押しをしていただきたいと思う。



平成31年第1回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）														議決結果	
		白石純一	渡辺久治	濱田洋一	西田数市	仮屋園一徳	竹原恵美	中面幸人	大田重男	濱崎國治	牟田学	岩崎健二	濱之上大成	山田勝	野畑直		木下孝行
議2	平成30年度阿久根市一般会計補正予算（第5号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議3	平成30年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議4	平成30年度阿久根市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議5	平成30年度阿久根市交通災害共済特別会計補正予算（第1号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議6	平成30年度阿久根市介護保険特別会計補正予算（第2号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議7	平成30年度阿久根市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議8	平成30年度阿久根市水道事業会計補正予算（第1号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議9	北薩広域行政事務組合規約の変更	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議10	道の駅阿久根観光物産館の指定管理者の指定	*	欠	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議11	阿久根市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	-	可決
議12	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	-	可決
議13	一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議14	阿久根市民交流施設整備基金条例の一部を改正する条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議15	阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議16	阿久根市工場立地法地域準則条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議17	阿久根市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議18	阿久根市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議19	阿久根市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議20	阿久根市営住宅条例の一部を改正する条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議21	瀨風ゆめみらい奨学金貸付基金条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議22	平成31年度阿久根市一般会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議23	平成31年度阿久根市国民健康保険特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議24	平成31年度阿久根市簡易水道特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議25	平成31年度阿久根市交通災害共済特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議26	平成31年度阿久根市介護保険特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議27	平成31年度阿久根市後期高齢者医療特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議28	平成31年度阿久根市水道事業会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議29	平成30年度阿久根市一般会計補正予算（第6号）	*	欠	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
平30請1	阿久根市による「障がい者青年学級」開設に関する請願書	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◇	-	趣旨採択
陳3	県道阿久根東郷線街路灯新設の陳情	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	採択
陳4	阿久根庁舎へのエレベーター設置等の陳情	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	趣旨採択

【表の見方】 議：議案 平30請1 = 平成30年請願第1号 陳 = 陳情 \*：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 -：表決権なし 欠 = 欠席  
 ○木下孝行議員は議長職のため特別多数議決を除く議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。  
 なお、賛成・反対が同数の場合、議長採決となります。

# 各議員が市政を問う

## 一般質問

平成31年第1回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。

【質問者】  
(質問順)

- ① 西田 数市 議員
- ② 野畑 直 議員
- ③ 濱田 洋一 議員
- ④ 仮屋園一徳 議員
- ⑤ 山田 勝 議員
- ⑥ 濱崎 國治 議員
- ⑦ 竹原 恵美 議員
- ⑧ 白石 純一 議員
- ⑨ 中面 幸人 議員

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

### 一般質問動画の視聴はこちら

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。

視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承下さい。

### 不正受給のいから補助は

平成31年度 廃止する

西田 数市 議員



動画視聴

**西田** 平成30年度の農作物の被害状況及び捕獲状況は、捕獲頭数で。  
**市長** 平成31年1月現在で被害金額で約6万3千円、捕獲頭数はイノシシ231頭、シカ447頭、合計678頭となっている。

**西田** 平成29年度の謝金は支払ったと聞いたが本年度の謝金の支払いは。  
**市長** 阿久根市、脇本両捕獲協会に対し、補助金等の交付は平成29年・平成30年度事業の支払いを行っている。  
**西田** 一社いから阿久根に対し平成31年の予算をなぜ計上しなかったのか。附帯決議は議会側の意思表示でしたので、行政側の意思表示として受け取ってよいか。  
**市長** 年間運営経費を十分に賄うだけの売り上げを確保すると見込まれたため補助の必要性を見いだせなかった。

**不登校・ひきこもり居場所づくり事業は**  
**西田** 不登校・ひきこもり居場所づくり事業への小中学生の参加について「出席扱いとすること」を検討するという回答があったが。  
**教育長** 現在、福祉課が設置している居場所づくり室に不登校の児童生徒が通室した場合、関係学校の教職員等が同席して対応を行えば出席として取り扱うこととし、平成31年度から適用を学校に通知したところである。



補助金が廃止になったいから阿久根の看板

## 遊休農地活用対策について

椿・ヒサカキ等 苗木植栽を

野畑 直 議員



動画視聴



**野畑** 県内外で椿油が見直されている。農林業振興センターで苗木を生産し、事業補助できないか。

**市長** 特用林産物の産地づくり推進事業を活用してもらいたい。

**野畑** 五島市、いちき串木野市、鹿児島市のように行政で椿苗木を調達できないか。

**市長** 31年度、農林業振



興センターで2千5百本の挿し木に取り組み。

**野畑** ヒサカキ苗木も同様に、市の単独事業で補助はできないか。

**市長** ヒサカキ苗木は、苗木が活着するまでの育苗支援をしている。

**野畑** 公簿面積より74%も侵食されている農地がありかなり危険な箇所がある。県に対する要望書にその図面を添付し、早急に侵食防止対策を講じて貰いたい。

**市長** 侵食防止対策は昨年11月にも要望している。指摘の図面を添付し、更に要望活動する。

**野畑** 平成24年に侵食されている土地の固定資産税の減免をお願いした。その後の経過は。

**市長** 平成26年と29年も税を見直している。

**野畑** 佐潟のゴルフ場建設予定地の市有土地について

**野畑** 以前、数コースのグラウンドゴルフ場の建設を提案したが、風力発電の計画があるとの答弁だった。進捗状況を伺いたい。

**市長** 平成29年1月、事業者から計画を断念するとの連絡があった。

**野畑** 60ha近い面積の土地である。計画がなければ民間に売却することも考えるべきだと思う。

## 自主防災組織の活動推進は

新たな事業で後押しする

濱田 洋一 議員



動画視聴



**濱田** 自主防災組織に対する活動の推進についてどのような取り組みがなされているか。

**市長** 平成31年度は、「地域色づくり事業」の中で、新たに各区の防災訓練を後押しするメニューを創設し、活動の強化や組織の充実を図る。

**濱田** 山間地域は、風水害などの災害の頻度が高

くなり、支え合いが特に重要と考えるが。

**市長** 地域の特性を把握することが重要であり、早めの避難や過去の災害事例も踏まえた防災対策が必要である。

**濱田** 「阿久根市空き家バンク制度」が設置されたが、どのような状況か。

**市長** 物件登録の申請や市内外からの問い合わせがある。また有効活用のために情報発信に努める。

**濱田** 危険空き家の調査をさらに実施した上で、

所有者等に対し空き家の撤去のお願いと補助制度について案内し、危険空き家の速やかな解消に取り組むとあったが、どのような状況か。

**市長** 公道を通行する人等に危険を及ぼす可能性の高いものが32戸あり、その所有者等に対し、適正管理の依頼文及び補助制度の案内を送付した。

**濱田** 所有者の方々の諸事情を考慮した中で丁寧な説明をし、理解を頂くよう努めてほしい。

**その他の質問**  
・農林水産業振興は。

### 命を守る最低限の行動を

危険な状況のなかでの避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定された避難所への移動(①水平避難)だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。



#### 例えば

- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している。
- 浸水は浅いが、水の流れる速度が速い。
- 用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

②垂直避難:屋外への移動は危険です。浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、自宅や近隣建物の2階以上へ一時的に避難し、救助を待つことも検討してください。



動画視聴



## 青果市場、市街地活性化へ

### 解体後、県へ返還方針

仮屋園 一徳 議員



H31年3月をもって青果市場は廃止

**仮屋園** 青果市場は3月末で営業を終了。そこで建物は壊すのは勿体ない。市民からも現在の建物を利用しての活用案があるが、市街地を活性化させるため、市場の建物を利用される考えはないか。

**市長** 屋根付き活用には市での改修が必要であり改修費に数千万円の費用が必要となる、飲食、物産、文化活動などの活用案は、具体化されておらず、費用対効果に問題があり、施設改修の理由が見出せない。

**仮屋園** どのように認識しているか。センターの公共共事業比率が低いとのことだが事業費増加の考えはないか。また、事務所は改修の必要があるが支援策はないか。

**市長** 作業など一時期に集中。それに対応できる会員の確保に苦慮、厳しい状況と認識する。公共事業の比率については、以前とほぼ同比率、今後とも運営補助を続け、センターの就業開拓に情報を共有していく。

**市長** 市街地に施設等の計画は無いが、これまでにぎわい交流館阿久根駅街路の整備、交流センターの完成に伴い、今後交流人口の増加事業を、継続していく。

**仮屋園** 青果市場は阿久根市うみ・まち・にぎわい再生整備基本計画の要所であり、市場跡地を含む、市街地活性化施設の計画が必要では。

### シルバー人材センター

## 市長3期目 どんな阿久根市に

### ひとつづくりの施策を進める

山田 勝 議員



中央青果市場跡地は中心市街地、旧港の開発・活用に最も重要な場所と言える

**山田** 3期目をスタートし、市長としてどんな阿久根市を目指し、つくりたいのか。

**市長** 阿久根に暮らす全ての方が安心して生活ができる環境を整え、阿久根市民であることの誇りと阿久根に住んでよかったと実感できるまちにしたいという強い思いから、ひとつづくりに重点を置いた施策を重点的に進めたいと考えている。

**山田** 総合計画の見直しと計画策定について、市長の力強いリーダーシップを望みたいが。

**市長** 阿久根に暮らす全ての方が安心して生活ができる環境を整え、阿久根市民であることの誇りと阿久根に住んでよかったと実感できるまちにしたいという強い思いから、ひとつづくりに重点を置いた施策を重点的に進めたいと考えている。

**市長** 構想の策定に当たっては、これまでの取り組みを検証・総括しながら、マニフェストで明らかにした重点施策を中心に検討していきたい。

**山田** 健全財政を心掛けるのはわかるが、これでは阿久根市が沈んでしまう。もつと積極的な財政運営はできないのか。



動画視聴



**市長** 私のマニフェストにおいて取り組むとした

**市長** 議会から要望書をいただいております、県と協議を行い、また会社に対して意向を照会している。どのような取扱いが可能か今後考えていく。

## 市長報酬2倍にし 増税？

元に戻したが 増税なし

濱崎 國治 議員



動画視聴



**濱崎** 先の市長選挙での相手候補の選挙広報に「報酬を2倍にし市民には増税した」と掲載されたが、事実であるのか。  
**市長** 当時の市長が議会の議決を得ないで行ったもので、議会の議決で元に戻した。また、増税はしていない。

**濱崎** 「旧国民宿舎跡地に中国資本を開発に参加させ、中国企業がやって来る。多くの中国移民が阿久根の生活保護で暮らす」と、市民を不安にさせるようなことが書いてあったが事実か。

**市長** 事実でない。跡地を中心とした宿泊施設など観光開発の可能性や事業構想、整備計画を検討するため香港が本社の日本の法人と協定を結んだ。その成果は、議会や市民に報告する。

**濱崎** 漁船のリース、エンジンのオーバーホール、機器等類の助成制度が始まったが、漁民への周知が不足しているのでは。  
**市長** 事業主体の北さつま漁協から総会時等に説明し、また漁協職員が直接組合員に情報を提供しており、市報でも広報できないか検討する。

**濱崎** 整備方針の決定後でないとい、旧阿久根高校跡地の整備はしないのか。  
**市長** こだわらない。必要なら個別に柔軟に対応する。

**濱崎** 漁船のリース、エンジンのオーバーホール、機器等類の助成制度が始まったが、漁民への周知が不足しているのでは。  
**市長** 事業主体の北さつま漁協から総会時等に説明し、また漁協職員が直接組合員に情報を提供しており、市報でも広報できないか検討する。

**濱崎** 整備方針の決定後でないとい、旧阿久根高校跡地の整備はしないのか。  
**市長** こだわらない。必要なら個別に柔軟に対応する。



早急に整備が期待される  
旧阿久根高校跡地

## 小規模校のリスクとは？

配置の教職員数ほかある

竹原 恵美 議員



動画視聴



**竹原** 市内小学校の学校規模の状況は適正規模校1校、小規模校2校、過小規模6校である。教育委員会はそのような活動をしているか。  
**教育長** 今後、保護者、地域の方と話しをする機会には子供たちにどのような教育が望ましいか伝えていきたい。  
**竹原** 生徒が自分の学ぶ

場所を選べるように学区の選択制を弾力的に導入してはどうか。

**教育長** 小規模校の教育の質の維持や学校の存続に影響することが考えられ現状に合わない。

**竹原** 特別な支援を必要とする児童生徒の保護者を対象とした学級PTAを開催してはどうか。

**教育長** 保護者の情報交換の場が必要であり市の関係課と検討する。学校に対しても特別支援教育の一層の充実について指導支援を行っていく。

**竹原** 全児童生徒にLD（学習障害）の簡易検査

を行い、指導や配慮につなげてはどうか。

**教育長** 各学校に県のチェックリスト等を有効に活用するよう周知徹底をはかり児童生徒の学習効果を高める指導方法や配慮に生かすよう指導支援をしていく。

### 市道の補修について

**竹原** 市道の補修について市民の負担で工事を行う自費工事の承認を行っているかどうか。

**都市建設課長** 市民が手続きと審査を受ければ可能である。

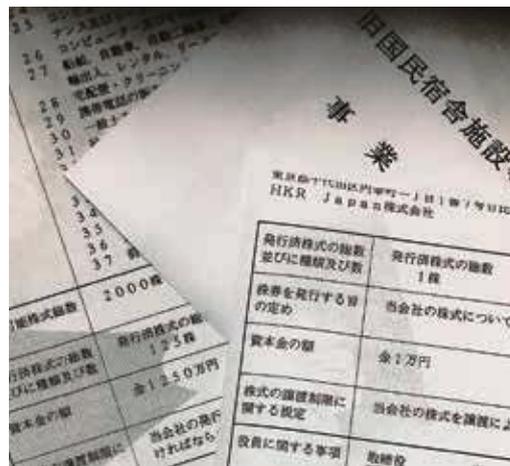


市民負担で舗装の補修ができる市道

## 問 当市知識ないHKRなぜ応募

### 答 積極的県外業者の紹介で

白石 純一 議員



HKRジャパン社の資本金は1万円。選定されなかった市内業者の資本金は1,250万円



動画視聴



**白石** 平成27年宿舍公募は、耐震上倒壊の危険性高い建物で国体を迎えるべきでないとの私の進言に反し、今回公募では選定に瑕疵、行政が歪められ開発が更に遅れるが。  
**市長** 27年市内業者応募も条件合わず、28年熊本地震で公募を留保した。  
**白石** 積極的興味持つ県外業者が地震で暫く応募

見合わすとの意向に市は公募延期。特定業者へ特別な配慮では。県外業者は直近公募に応募したか。  
**市長** あの状況では皆同様と推察した。市内業者には聞いていない。県外業者は応募しなかった。  
**白石** 積極的業者の本気度を市は計れなかったのか。HKRジャパンの資本金、また同社が、当初知識と興味ない当市の公募に申し込んだ経緯は。  
**財政課長** 資本金1万円、(上記)県外業者の紹介だ。  
**白石** 行政手続き守らず、総務省から見ても問題無いか。今回の選定に

「やむをえない」とは。  
**副市長** つど判断した。  
**市長** 将来の夢、長期の観点から「やむをえない」。  
**子ども憲章制定を**  
**白石** 信号機無い横断歩道の歩行者に止まる車は、市内某所100台中ゼロ。子供もいたが。交通事故や虐待、情報悪用等の環境悪化の中、子供を守る「子ども憲章」制定は。  
**市長** これまで検討ない。  
**その他の質問**  
・人手不足にシルバー層以外の人材バンク創設を

## 問 イノシカ侵入防止柵 課題は

### 答 他事業交付金活用で負担軽減

中面 幸人 議員



昼間から出没するイノシシ



動画視聴



**中面** このイノシカ侵入防止柵設置は自力施工が基本となっているが負担軽減の措置はないか。  
**市長** 他事業の交付金活用や他地区の設置事例等の紹介や情報等の支援をしていく。  
**中面** 有害鳥獣対策補助金に関する一連の問題等の解決が長引いていることで、本来の目的である

守るべき農家が置き去りになったり、また解体処理施設が正常運営していないため、捕獲協会の活動意欲がなくなり捕獲頭数も減少しているが。  
**市長** 捕獲頭数は前年同期と比較すると減少しているが、例年どおり有害鳥獣捕獲の指示及び国の上乗せ交付金は支給しているの、補助事業の執行の有無と捕獲頭数の減少及び捕獲協会の活動意欲との因果関係はないと思う。  
**中面** 阿久根の基幹産業である農業を守るため、イノシシやシカの確実な

個体数減少対策と侵入防止柵事業の普及拡大に取り組むことを要望する。  
**教職員住宅整備について**  
**中面** 築年数38年以上の住環境の悪い校長・教頭住宅があるが、今後の整備計画はあるか。  
**市長** 今年度において重点課題として今後の整備のあり方について検討を始めている。  
**中面** 一般教職員も市内に住んでもらえるように空家等も活用するなど受け入れ態勢づくりを要望する。

# クイズ from 議会だより

議会だよりの内容から出題されるクイズにチャレンジしてみませんか。答えはこの議会だよりの中に。よく読んで、答えを見つけてみて！正解者の中から5名様に商品券（1,000円）が当たります。

- Q1 瀨風ゆめみらい奨学金は（ ）や海外（ ）を目指す学生を支援する奨学金です。  
 Q2 市政に意見や要望があるときは、誰でも（ ）書や（ ）書を市議会に提出できます。  
 Q3 平成31年度第1回定例会では、（ ）人の議員が一般質問を行いました。

## 〈応募内容〉

- Q1、2、3の答え
- 議会だよりへの感想か市政へのご意見・ご要望
- 住所・氏名・性別・年齢・電話番号を記入頂き、右記のいずれかの方法で応募下さい。  
 ＊ご感想・ご意見・ご要望は誌面でご紹介させていただきます。

## 〈応募方法〉

- ハガキ： 〒899-1696 阿久根市鶴見町200番地 阿久根市役所議会事務局宛
- FAX： 0996-72-2029
- メール： gikai@city.akune.kagoshima.jp

## 〈応募資格〉

阿久根市民に限ります。

## 〈前回議会だよりNo.200のクイズ〉

正解： Q1 4月 / Q2 12か所 / Q3 ○

当選者：5名の応募をいただき、そのうち正解は4名でした。発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

## 6月定例会のお知らせ

- 日 本会議（提案説明・質疑）
  - 日 本会議（一般質問）
  - 日 本会議（一般質問）
  - 日 本会議（審査報告・表決）
- ※日程については、変更になる場合があります。



## そうだ、議会に行こう！



傍聴席は市役所4階です。

市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。ぜひ傍聴にお越しください。

議会傍聴に来られない方は、市役所ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用下さい。

議会生中継への二次元コードはこちら →



中継録画への二次元コードはこちら →



学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。  
 会議録は市役所・三笠支所・大川出張所・図書館で閲覧できます。

## 編集後記

新元号により新しい時代の幕開けです。「平成」から「令和」への年号の代わりにより、10連休という長い休日になり、観光産業を中心に日本全体が大いに盛り上がったことでしょう。

阿久根市議会は、定数1人減になり、改元という大きな時代の変わり目に、改選による新しい議員15人での活動が始まりました。

選挙戦で掲げた公約や有権者に約束したことの実現を図るため、それぞれの議員が全力で取り組み、有権者の期待に応えて行くことと思えます。

（委員 濱崎國治）

発行責任者	議長	木下 孝行
広報広聴委員会	委員長	白石 純一
委員	副委員長	渡辺 久治
委員	委員	西田 数市
委員	委員	飯屋園 一徳
委員	委員	濱崎 國治

※ 平成31年4月25日現在の議員により発行しています。